埼玉県

＜報道発表資料＞

保健医療部　疾病対策課
総務・疾病対策担当　川角・宮本
直通 048-830-3595
内線 3593
E-mail: a3590-05@pref.saitama.lg.jp

カテゴリー:お知らせ

令和８年１１月１２日

臓器移植推進街頭キャンペーンを開催します

県では広く臓器移植医療について理解していただくため、「臓器移植推進街頭キャンペーン」を行います。ＪＲ大宮駅前では、コバトンとさいたまっちが普及啓発リーフレット等を配布します。

全国で１７，３６２人（令和８年９月末現在）の方が腎臓や心臓等の臓器移植を希望しています。

この機会に、臓器移植について考えていただくとともに、臓器提供の意思表示の協力を呼び掛けます。臓器提供の意思表示はマイナンバーカード、運転免許証、意思表示カードの裏面に記載するほか、インターネットにより登録することができます。

●「臓器移植推進街頭キャンペーン」概要

１　開催期日

令和８年１１月１５日（日）１３時～１５時

＊天候により中止となる場合があります。

２　開催場所

大宮駅西口ペデストリアンデッキ

３　内容

臓器移植啓発リーフレット・啓発品の配布

＊配布物がなくなり次第終了となります。

４　主催・共催・後援

主催：特定非営利活動法人埼玉県腎臓病患者友の会
共催：（公財）埼玉県腎・アイバンク協会、（公社）埼玉県臨床工学技士会
後援：埼玉県、さいたま市

【日本の臓器移植の現状】

・移植希望登録者数　　１７，３６２人（令和８年９月３０日現在）
・脳死下で提供された方　　１４６人（令和７年１月～１２月）
・心停止後に提供された方　　１２人（令和７年１月～１２月）
・インターネットによる臓器提供意思登録者数
　　２８０，８９９人（令和８年１０月３１日現在）

【海外との比較】

日本では特別な治療法と思われがちな臓器移植ですが、海外（アメリカやヨーロッパ）では普通に行われています。

アメリカでは、年間約１４，０００人もの方が臓器を提供され、臓器移植件数は約４０，０００件です。

一方、日本では移植を希望して待機している方が約１７，０００人もいる中で、死後に臓器提供する人は年間１００人前後（臓器移植件数は６００件程度）です。

臓器移植は、第三者の善意による臓器の提供がなければ成り立ちません。

皆様の意思で救える命があります。自分の意思を尊重するためにも、臓器移植について考え、家族と話し合い、「提供する」「提供しない」どちらかの意思を表示しておくことが大切です。

世界の臓器提供数（１００万人当たりのドナー数）



※フランスのみ2021年のデータ　　出典：IRODaT(DTI Foundation)(2022年)

（日本臓器移植ネットワークホームページより）